

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 H 組～ E 組

教科担当者： (H組： 添田・八木岡 (A組： 添田・八木岡 (B組： 添田・八木岡) (E組： 添田・山崎) (組：) (組：)

使用教科書： (大修館書店 現代の国語)

教科 国語 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 現代の国語 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	明日をひらく 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	白紙 考える技術——考えさせない時代に抗して 伝える・伝え合う ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。 ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・言葉やコミュニケーションに対して興味をもち、「現代の国語」の学習に意欲をもっている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○		1	
	要点をつかむ・的確に伝える 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	文章の要点をつかむ 水の東西／「動」への変化 ・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	○	○	○	【知・技】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などに留意し、要旨や要点を把握している。 【主体的態度】 ・具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	○	○	○	4
		伝わるように話す わかりやすく書く ・話し言葉の特徴を知る。 ・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 ・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や構図を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的態度】 ・話し言葉の特徴に関心をもち、聞き手が理解しやすい説明のしかたをしようとしている。	○	○	○	2
定期考査						○	○		1	
2 学 期	的確に伝える・意見を示す 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	社会への視点① さまざまな規約 ・Q&Aや条例など、実用的な文章の特色をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、語や文章の中で使うことを通じて、語感や語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などに留意し、要旨や要点を把握している。 【主体的態度】 ・実用的な文章に興味をもち、その意図や表現上の工夫をとらえたり、わかりやすく書いたりする学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1	
	意見を示す 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	発想を広げる ・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。 意見を書く ・構成や展開を意識して文章を書く。 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 【主体的態度】 ・他者と積極的に意見交換し、発想を広げようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	1	
3 学 期	論理をとらえる 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	文章の論理をとらえる 動的平衡としての生物多様性/自然と人間の関係をとらえて考える ・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	○	○	○	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報との関係を理解している。 ・推論のしかたを理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的態度】 ・論理的文章を読むことに興味をもち、論理関係を意識して読もうとしている。	○	○	○	5
	魅力的に伝える 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	工夫して話す 魅力的な紹介文を書く ・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に活かす。 ・読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。	○	○	○	【知・技】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方を理解している。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的態度】 ・紹介文を書く活動に興味をもち、読み手が共感できるように表現を工夫している。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	合計 35	

